

令和6年能登半島地震・市の被災地支援

被災された方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の1日も早い復興をお祈り申し上げます。国の要請により県内の自治体は、輪島市と中能登町などの被災地への職員派遣の他、二次避難者の受け入れなどの被災地支援を続けています。



▲地震により被災した道路
(中能登町提供)



▲電柱が道路をふさいでいる
(輪島市内)



▲緊急消防援助隊消火活動



▲避難所の様子 (輪島市ふげし鳳至小学校)

被災地への職員派遣

●消防隊派遣

緊急消防援助隊第1次～第3次21人

1月1日～10日・穴水町・能登町・輪島市

●市役所職員派遣

・被災家屋応急危険度判定士 2人

1月16日～18日・能登町・穴水町

・保健師派遣 1人

2月3日～8日・金沢市内1.5次避難所

・管理栄養士派遣 1人

2月27日～3月3日・金沢市内1.5次避難所

・住家被害調査支援派遣 6人

1月28日～31日・中能登町

2月19日～21日・中能登町

3月7日～10日・中能登町

・避難所運営職員派遣 4人

1月22日～29日・輪島市

2月2日～8日・輪島市

2月8日～15日・輪島市

・下水道管路施設二次調査派遣 1人

2月24日～29日・中能登町



▲陥没した道路

派遣職員の声

○消防職員

助けを待っている人がいる…。

ただその思いで向かうも、悲惨すぎる景色と悪路に、無情にも時間だけが過ぎていきました。もっともっと助けたかったのに。災害時、助けはすぐにやって来ない。自助共助で乗り越える準備が必要です。

○地域包括ケア課職員

石川県輪島市の朝市近くの避難所運営支援に岐阜県派遣団の一員として参加してきました。

被災から3週間でも体育館に170名を超える避難者が段ボールベッドや床に布団を敷き、プライベート空間もなく、寝る状況は衝撃的でした。



▲要介護高齢者受入 (1月26日)

救援物資の提供

- アルファ化米 14,750食・1月5日
輸送ボランティア 丸文サービス(株)

被災者の受入

- 石川県を通じた二次避難者受入
(県内初)
(2月2日～3月末 1世帯3人)
- 要介護高齢者搬送・受入
(1月26日～・2人)

義援金の募集

被災者を支援するため、引き続き義援金のご協力をお願いします。お寄せいただいた義援金は、日本赤十字社飛騨市地区を通じて被災地へ届けられます。

期間 12月27日(金)まで

場所 ハートピア古川

- ・飛騨市役所(本庁舎)
- ・各振興事務所
- ・飛騨市図書館・神岡図書館
- ・飛騨市民病院



いざという時の備えを！

地震が起こる前に、今のうちからできることがあります！

① 日頃から事前対策を！

✓ 家具の転倒防止

扉のロックや突っ張り棒、L字金具での固定で安全性が高まります

✓ 寝室の安全確保

2階を寝室に利用したり割れたガラスが散乱しても歩けるようにスリッパなどを枕元に置きましょう

✓ 備蓄品の準備・確認を

最低でも3日分の備えを(水・食糧・簡易トイレ・常備薬他)

✓ 自宅の耐震補強

耐震補強診断と耐震補強に加え、地震保険への備え

※補助制度は市ホームページ(右コード)をご覧ください



② 地震が起こったら まずは 身の安全を確保しよう！

- 窓、家具から離れ、無理に火を止めに行かない
- 揺れがおさまってから火の元の始末をしましょう
- 自動消火装置付のガス器具、暖房器具を使いましょう



③ 揺れがおさまれば安全が確保できたら

- 早めに避難場所へ避難を
- 災害情報の入手
- 家族の安否の確認

